

フジワンドントツ粒剤

[クロチアニジン・イソプロチオラン粒剤]

農林水産省登録 第23732号

有効成分 クロチアニジン…1.5%イソプロチオラン…12.0%

性 状 類白色細粒

安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称） 危険物：- 有効年限：3年 包装：1kg×12（紙パック） RACコード：殺虫[4A]殺菌[6]

特長

- 育苗箱処理により、いもち病、水稻初期害虫、ウンカ類を同時防除できる。
- 1kg包装はそのまま散布できる紙パック容器で簡単に薬剤を散布できる。
- 緑化期から使用できるので、忙しい田植え時期の作業を分散できる。

効果、薬害等に関する注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機で移植する。
- 稲の葉が濡れている場合には、散布前に葉に付いている露を払い落としてから薬剤を散布する。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意する。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出したりしないように注意する。移植後は直ちに入水し、水深2～3cm程度を保ち浅水はさける。
- いもち病に対して使用する場合は、移植後およそ6週間を経過すると葉いもちに対する防除効果が弱まるので移植後葉いもち発生までの期間を考慮して使用する。なお、天候不順等で葉いもちの発生期間が長びく場合、又は葉いもちの発生がおくれた場合には必要に応じて本田でいもち防除剤を追加散布する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。

水産動植物に対する注意事項

- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意する。

適用内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数	イソプロチオランを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 イネミズウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	緑化期～ 移植当日	1回	本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布する	4回以内(移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内(移植前は1回以内、本田では2回以内)

作物名	使用目的	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数	イソプロチオランを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	根の伸長及び発根促進	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	緑化始期	1回	本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布する	4回以内(移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内(移植前は1回以内、本田では2回以内)

製品写真



最新の登録内容はこちら

